

国立研究開発法人科学技術振興機構 令和8年度第1回契約監視委員会 議事要旨

開催日時：令和8年6月19日(金)13:30～16:00

会場：科学技術振興機構 東京本部 B1 階会議室 1、Web 会議（ZOOM）併用

委員：井上委員長、岩崎委員、江上委員、奥委員、白木澤委員

説明者：経理部調達室長、企画調整課長、調達第一課長、調達第二課長、日本科学未来館経営管理室長、
契約担当者、調達要求部署担当者

オブザーバー：内部監査役、監査部長

事務局：監査課長、監査課課員

○契約監視委員会規則第6条第2項の規定による構成委員の2分の1以上の出席を得ており、本委員会は成立していることが確認された。契約監視委員会規則第5条第1項の規定による委員互選により委員長が決定された。

【議事内容】

1. 令和7年度第2回契約監視委員会議事要旨確認

資料3に基づき、前回委員会の議事要旨が確認された。

2. 令和7年度の契約状況及び自己点検結果等について

経理部調達室より、資料4に基づき、令和7年度の契約状況の概要、競争性のない随意契約状況および自己点検結果、一者応札・応募状況および自己点検結果、関係法人等のみの応札・応募状況および自己点検結果、少額随意契約基準額変更の影響等の説明があった。関係法人等との契約における一者応札等の内数の確認があり、次回より資料に追記することとした。

3. 令和7年度調達等合理化計画の自己評価結果について

経理部調達室より、資料5に基づき、「令和7年度国立研究開発法人科学技術振興機構調達等合理化計画の自己評価結果(案)」について説明があった。グローバル・スタートアップ・キャンパスの分任の変更についての確認があり、了承された。

4. 令和8年度調達等合理化計画の策定について

経理部調達室より、資料6に基づき、「令和8年度の国立研究開発法人科学技術振興機構調達等合理化計画(案)」について説明があった。特段の質疑応答はなく了承された。

5. 個別契約案件（令和7年8月～令和8年3月）の点検について

事務局より、資料7に基づき、個別点検案件の選定経緯の確認があった後、契約部署・調達要求部署よ

り、資料 8－1、8－2、8－3、8－4に基づき、それぞれ説明の後、次の視点による点検が行われた。

点検案件① LOTUS Programme の訪日大学院生等に対する研修支援に係る業務

一者応札・応募かつ落札率が高く、複数業者が入札可能と考えられ、契約相手方が関係法人である契約の中から、新規の役務契約として選定された本契約について、インド以外の類似プログラムの実施状況、仕様書におけるインドの大学・機関との調整経験を受注条件とすることの妥当性、研修の実施方法、講師体制、招聘者数増加を踏まえた適正な実施規模、参考見積書取得先の選定理由、全省庁統一資格未取得者への対応などの確認が行われた。インド関係の経験や講師の国籍要件、教材の著作権帰属、講義時間帯等が、一般の日本語教育機関等の参入障壁とならないよう、業務目的に照らして仕様上の必要性を精査することについて示唆があった。

点検案件② 事務処理用パソコン・管理サーバサービス及び運用・運用支援の導入（2026）

一者応札・応募かつ落札率が高く、複数業者が入札可能と考えられる契約の中から、複数年契約で最も高額なものとして選定された本契約について、IT 関連品目の価格上昇や納期長期化を踏まえた競争性の確保、参考見積依頼先及び入札説明会参加者の状況、一者応札となった原因、応札に至らなかった事業者へのヒアリング状況、参考見積額と契約金額の差、予定価格の設定根拠などの確認が行われた。一括調達により競争性が低下する可能性も踏まえて分割調達の可否を検討することについて示唆があった。

点検案件③ JST 九段南オフィス什器の購入ならびに設置作業

一者応札・応募かつ落札率が高く、複数業者が入札可能と考えられる契約の中から、これまで個別点検案件の対象となっていなかった部署に係る比較的高額な契約として選定された本物品購入契約について、内装工事及びパーティション工事との関係、本契約の調達範囲、参考見積依頼先及び声掛け先の状況、問屋・代理店等を含む他の取扱業者の有無、仕様書に記載した参考型番の扱い、他メーカー製品による応札可能性、辞退事業者の辞退理由などの確認が行われた。より大きな代理店やキャパシティを持つ業者を含めて声掛け先を広げることについて示唆があった。

点検案件④ グローバル・スタートアップ・キャンパス構想 先行的活動における運営支援業務 4 件

新規の競争性のない随意契約の中から、比較的金額が高く、不動産賃貸借や光熱水料等に該当しない契約として選定された 4 契約について、特命随意契約の前提となる内閣府の事業者選定との関係、契約金額の積算根拠、委託費内訳の妥当性を JST が確認する立て付け、業務が実施されなかった部分や不要な支出は支払わない取扱い、将来設立予定の認可法人への引継ぎなどの確認が行われた。

6. その他

今回の議事要旨及び委員名簿は、委員確認後は次回開催を待たず、速やかに HP に公表することが確認された。

○配付資料

資料 1 契約監視委員会 委員名簿

資料 2 契約監視委員会規則

資料 3 国立研究開発法人科学技術振興機構 令和 7 年度第 2 回契約監視委員会 議事要旨

資料 4 令和 7 年度の契約状況および自己点検結果の報告

資料 4-1 別紙 独立行政法人から公益法人への支出に関する競争入札の見直しの状況／随意契約の見直しの状況

資料 4-2 点検項目表（自己点検・チェック用）

資料 5 令和 7 年度国立研究開発法人科学技術振興機構調達等合理化計画の自己評価結果(案)

資料 6 令和 8 年度国立研究開発法人科学技術振興機構調達等合理化計画（案）

資料 7 個別点検案件の選定経緯

資料 8-1 点検案件①

資料 8-2 点検案件②

資料 8-3 点検案件③

資料 8-4 点検案件④

参考 1 第 1 回契約監視委員会 web 会議イメージ

参考 2（事前配布・確認資料）

01._【資料 1】点検候補契約案件一覧（一者応札・一者応募）

02._【資料 2】点検候補契約案件一覧（競争性のない随意契約）

03._【資料 3】点検候補契約案件一覧（少額随意契約（基準額の 99%以上））